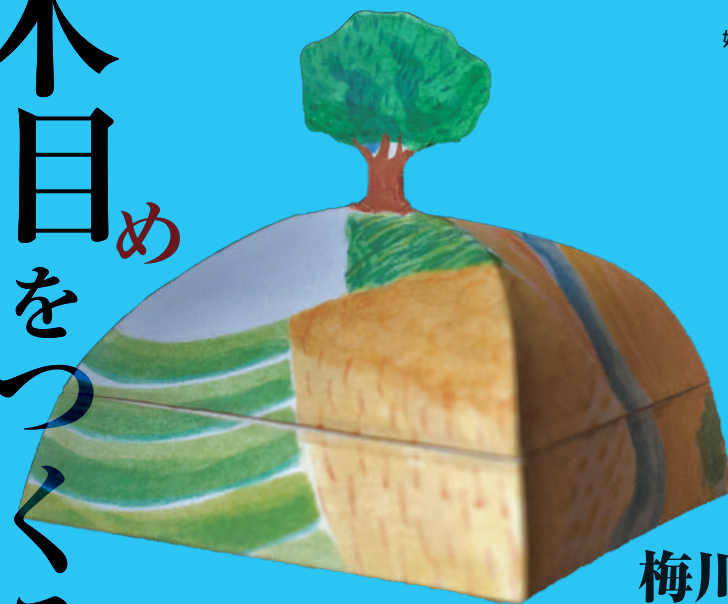


木目めをつくる



梅川茜
Akane Umekawa
松本市

小林努
Tsutomu Kobayashi
松本市



令和元年度 企画展Ⅱ
姉妹友好都市間文化交流事業

松本市アートスペース
Fujisawa City Art Space

2019年7月13日[土] - 9月8日[日] 10:00 - 19:00 (入場は18:45まで)
休館日：月曜日 (ただし7月15日、8月12日は開館、7月16日[火]、8月13日[火]は休館)



後藤信治
Shinji Goto
藤沢市

会場 藤沢市アートスペース
観覧料 無料
主催 藤沢市、藤沢市教育委員会
後援 松本市、神奈川新聞社
協力 J・COM 湘南・神奈川、レディオ湘南
公益財団法人藤沢市みらい創造財団
ココテラス湘南



大曾根俊輔
Shunsuke Osone
松本市



上：《ブラジルバクカルロス》2009
下：《アルダブラゾウガメ アップルヤン》2017

後藤 信治

Shinji Goto

山形県山形市生まれ、藤沢市在住。電機メーカー勤務後、デザインスクール入学。卒業後、広告代理店や情報紙編集の仕事に10数年たずさわる。会社勤めを辞め、本格的に木工を始める。家具職人として5年働いた後、2007年鎌倉彫伝統工芸士・小園敏樹氏に師事し漆工を修行。2010年後藤漆藝設立。塗師として器や皿、箸など生活用品をつくるとともに、工芸作品では見られないスポーツ用品等を漆塗り作品として制作するなど実験的な活動を行っている。



左から《4寸飯碗・錫蒔塗り》2013、《輪文滑板》2018

大曾根 俊輔

Shunsuke Osone

神奈川県二宮町生まれ、松本市在住。2002年武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科木工専攻 卒業。2004年東京藝術大学大学院文化財保存学専攻修了後、文化財修復の仕事に11年間従事。2015年より松本市に移住し、工房茶虎を開設。動物をモチーフに乾漆彫刻を制作する。

【関連イベント】

●アーティストトーク

7月13日(土) 13:00～
本展参加アーティストと担当学芸員が、展覧会や作品についてお話します。
参加自由、無料。開始時間に展示ルームへお集まりください。

●ワークショップ

「茶葉と漆で作る茶匙」

7月14日(日)

①13:00-15:00

②15:30-17:30

講師：大曾根俊輔

参加費：2500円

対象：中学生以上

定員：各回6名

持ち物：汚れても良いエプロン
※体質により漆にかぶれる場合があります

「ポストカードサイズの紙箱作り」

7月27日(土)

①13:00-14:30

②15:00-16:30

講師：梅川茜

参加費：2000円

対象：中学生以上

定員：各回6名

「包装物・古紙に空想の都市を描こう！」

8月25日(日)

13:00-15:00

講師：小林努

参加費：500円

対象：5歳以上(小学2年生以下は保護者同伴)

定員：10名

持ち物：使用済み封筒・使用済み郵便物・包装紙

「漆塗りのお箸を作ろう」

9月1日(日)

①13:00-14:30

②15:00-16:30

講師：後藤信治

参加費：1000円

対象：小学5年生以上

定員：各回8名

持ち物：汚れても良い服装
※体質により漆にかぶれる場合があります

申込み方法：開催日1ヶ月前より
開館時間に電話
(0466-30-1816)または直接
来館にて、参加者氏名、電話番号
をお知らせください。
※一回の応募につき2名まで申込
可、定員に達し次第受付終了。



藤 沢 市 アー ト ス ペー ス
Fujisawa City Art Space

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/bunka/FAS/>



藤沢市アートスペースは、当市と姉妹友好都市提携を結ぶ各市との文化交流を図るプログラムを昨年度からスタートさせました。本プログラムは各姉妹友好都市ゆかりのアーティストと湘南ゆかりのアーティストが展覧会を通して互いに理解を深めるべく行うものです。2回目となる今回は、半世紀以上にわたり当市と様々な交流を行ってきた長野県松本市ゆかりのアーティストとともに開催します。

松本市に拠点をおく梅川茜、大曾根俊輔、小林努と、藤沢市で活動する後藤信治。本展で紹介する4名は、技法や形態、表現方法は様々ですが、伝統的な制作技法を用いた上で独自の表現を試みている点が共通しています。彼らは、素材と真摯に向き合い、試行錯誤しながら作品を生み出します。私たちが目にすることができるのは、完成した作品の表層・木目(きめ)だけかもしれませんが、その木目から制作にかけた時間や作品にこめた思いなどが読み取れることでしょう。

梅川 茜

Akane Umekawa

Valréas でカルトナージュの技術を学んだ後、2003年にAkaneBonBon(アカネボンボン)の名で松本にて活動開始。和紙に型染めや、手動の活版印刷機の使用など、紙の周辺の手工芸的技術を広く取り入れながら、厚紙を用いた暮らしの道具を制作・発表している。



左から《記憶の原っぱ》2018、《お茶セット入れ》2017

小林 努

Tsutomu Kobayashi

長野県東御市生まれ、松本市在住。1998年武蔵野美術大学造形学部日本画学科卒業、2000年筑波大学芸術研究科美術専攻修了。鉄や廃墟をモチーフとした作品制作を経て、2012年頃より救済・光をテーマに墨を使用した連続性のある作品を制作。現在は従来の支持体(紙本等)の他、封筒やお菓子のパッケージの裏面や古紙を貼り合わせた作品を手がける。

アクセス●

電車：JR 辻堂駅東口改札、

北口出口より徒歩5分

バス：神奈川中央交通バス停

「神台公園前」下車すぐ

※アートスペース専用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

〒251-0041

藤沢市辻堂神台2-2-2

Cocco Terrace 湘南6F

Tel 0466-30-1816

Fax 0466-30-1817

上：《one-day drawing 18 20190416》2019
下：《黒の巡礼》《樹の巡礼》《水の巡礼》2014-18

